

2023 年度 人間環境学部 自己推薦入学試験
2023 年度 人間環境学部 国際バカロレア利用自己推薦入学試験

小論文 問題

[問題 1]、[問題 2]のうち、どちらかを選択して解答しなさい。

解答した問題は、解答用紙の問題選択欄に○で囲むこと。

[問題 1] 以下は牛に関する情報です。これを読んで文末の問いに答えなさい。

メタンについて

- メタンは温室効果ガスの一種であり、放射強制力（地球温暖化を促進する力）は二酸化炭素の 21 倍ある。
- 2017 年度に日本が排出したメタンは日本の温室効果の 2.3%に寄与しているⁱ。
- 日本のメタン排出量の 27%はウシのゲップであるⁱⁱ。
- メタン排出量を 2030 年までに 2020 年比で少なくとも 30%削減する Global Methane Pledge に、日本は 2021 年に加盟した。

世界の農業と牛肉

- 世界農業機関（FAO）は畜産に関して報告書“Livestock’s Long Shadow”ⁱⁱⁱを発表し、以下の指摘をした。
 - ・ 畜産業は全農地の 70%、地球上の陸地の 30%を占めている。
 - ・ 家畜生産の拡大は森林破壊の主要因であり、ラテンアメリカでは以前はアマゾンの森林だった土地の 70%が牧草地に変わり、残りの大部分も飼料作物用の農地が占めている。
 - ・ 畜産は、世界の温室効果の 18%に寄与していて、輸送部門を上回っている。
 - ・ 世界では、淡水不足が深刻化しており、2025 年には世界人口の 64%が水不足の流域で生活することになると予想されている。畜産部門は水の使用量増加の主役であり、世界の人間の水使用量の 8%以上を占め、そのほとんどが飼料作物の灌漑に使用されている。
- 今後の世界的な食糧需給を考えれば、肉食を控え、より環境負荷の小さい代替肉や昆虫食を進めるべきだという指摘が FAO から出されている^{iv}。
- 1 キログラムの肉牛を生産するためには、牧草やトウモロコシなどの飼料も生産しなければならないので、合計で 15,400 リットルの水が消費される^v。
- 牛肉を輸入することで、日本は海外で毎年 140 億 m³の農業用水を間接的に使用していることになると試算されている（日本国内の年間灌漑用水使用量は 590 億 m³）^{vi}

肉牛の飼育

- ヨーロッパでは畜舎で牛を飼育することは非倫理的であり、牧草地で飼育すべきであるというエシカルフード（倫理的な食品）の考え方が広がっている。そして、日本の畜産業はアニマルウエルフェア（動物愛護）の精神において、世界の水準に達してなく、牛は畜舎でなく牧草地で飼育するべきという指摘がある^{vii}。しかし、土地の狭い日本では十分な牧草地を確保することは困難である。
- 牧草地と畜舎で飼育される肉用牛を比較すると、1 キログラムの肉を得るために必要な土地面積が牧草地では畜舎の 14 倍から 19 倍になる。さらに牧草地で飼育される牛は体重増加が遅く、長生きするため、糞尿やメタンの排出量も多くなる^{viii}。

和牛

- 政府は 2020 年 11 月に「農林水産物・食品の輸出拡大のための輸入国規制への対応等に関する関係閣僚会議」において「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」をとりまとめた。その中で牛肉を筆頭とする 28 品目を輸出重点品目に選定した。
- 松阪牛、神戸牛などすでに全国ブランドとして知名度の高い牛肉を始め、近江牛、飛騨牛、山形牛、仙台牛、前沢牛、宮崎牛など多数の牛肉のブランド向上が生産地で進められ、地域振興の有力な切り札として期待されている。
- サシ（脂肪）の入った高品質の牛肉は、肉牛を畜舎で飼育することで得られる。

問い

政府は肉用牛農家に対して様々な融資補助事業を行っています。和牛肉はインバウンドの外国人観光客にも評判が良く、地域おこしの切り札として期待を寄せる地方自治体も多数あります。ここでもしも、政府が地球環境問題やアニマルウェルフェアを考慮して、肉用牛農家に対する融資補助事業を廃止すれば、かなりの農家が廃業に追い込まれるでしょう。そして、市場ではアメリカやオーストラリアからの輸入牛肉が和牛肉にとって代わることになるでしょう。この融資補助事業は存続するべきでしょうか、あるいは廃止するべきでしょうか。農家や食肉関連業界、地方公共団体に及ぶ影響、国内外の自然保護団体などの反応、今後の日本の食生活の在り方なども踏まえて、あなたの考えを述べなさい。

ⁱ <https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r01/html/hj19020101.html>

ⁱⁱ <https://www.jiji.com/jc/article?k=2021102300355&g=soc>

ⁱⁱⁱ <https://www.fao.org/3/a0701e/a0701e00.htm>

^{iv} FAO (2013) Edible insects -Future prospects for food and feed security

^v <https://waterfootprint.org/en/water-footprint/product-water-footprint/water-footprint-crop-and-animal-products/>

^{vi} <https://ysgv.jp/waterlab/1753>

^{vii} 山本 謙治(2022) 『エシカルフード』

^{viii} Michael Schellenberger (2020) Apocalypse Never

[問題 2] 次の文章を読み、後の問いに答えてください。

...1980 年代以降、現代福祉国家の多くは、公的支出の抑制のため規制緩和と分権化を通して、様々な公的福祉サービスの民営化を進めてきた。しかし、(1)福祉の論理は一般に市場の論理とは相容れないため、福祉サービスを市場経済のみにおいて十分に供給することは難しい。このため、福祉サービス供給の場として「準市場」が形成され、新たな供給主体として市民福祉が積極的に活用されるようになったのである。それは、国家福祉を一部代替するという面もあるが、同時に、ときに国家よりも望ましい福祉の供給主体として期待されてもいた。従来の行政による画一的なサービスとの対比で、利用者のニーズに個別に対応し、かつ行政によるパターンリスティックな「措置」ではなく利用者自身の「選択」と「自己決定」を促すものとして肯定的に捉えられてきたのである。しかし、忘れずに指摘しておきたいのは、(2)このような供給主体の多元化ないし市民福祉への期待の高まりは、多くの場合、福祉の公的責任の縮減とセットだということである。市民福祉は、福祉の民営化により生じた公的福祉の隙間を埋めるために「再発見」されたとも言えるのだ(Clarke 1997)。

さらに興味深いのは、アン・フィリップスが指摘しているように、(3)市民福祉において活用されたのは、主に女性のボランティア的な労働力であったということである(Phillips 2002)。つまり市民福祉は、公式な経済・政治の中心から 周辺化/排除された者、女性やサードセクターにとって、社会的承認を得られる「活路」となったのである。この意味で、福祉の新自由主義的再編は、皮肉にも(一部の)女性の(部分的な)社会進出と社会的承認をもたらしたとも言え、それはしばしば新自由主義とフェミニズムの「親和性」として説明されてきた。...

堅田香緒里, 2019, 「生活困窮者支援における「市民福祉」の制度化をめぐる一考察」『福祉社会学研究』16: 117-134.

Clarke, John, 1997, "Public nightmares and communitarian dreams: the crisis of the social in social welfare," Steplen Edgell, Kevin Hetherington, and Alan Warde eds., Consumption Matters, Oxford: Blackwell.

Phillips, Anne, 2002, "Does Feminism Need a Conception of Civil Society?" Simone Chambers and Will Kimlicka eds., Alternative conceptions of Civil Society. Princeton: Princeton University Press, 71-89.

問題

1. 下線部 (1) について、その理由を具体的に説明してください。
2. 下線部 (2)と(3)の点について、あなたの考えを具体的に述べてください。
3. 全国で活動が活発な「子ども食堂」は、日本における公的福祉サービスの民営化の一例として考えることができます。本文章の論点を取り入れながら、現状に関するあなたの考えと、あなたが今後必要だと考える対策について具体的に説明してください。

2023年度 キャリアデザイン学部

キャリア体験社会人入学試験・国際バカロレア利用自己推薦入学試験

小論文 問題

氏名				
受験番号				

次の文章を読み、後の質問に答えなさい。

ほとんどの親が間違えているのは、学校というところは勉強をするところだと信じているところです。自分の子どもは学校で一生懸命勉強していると思い込んでいる。だから子どもを学校に行かせることにこだわるのです。

確かに義務教育くらいまでは、一生懸命勉強して何かを覚えようとしている子どももいるでしょう。でも、高校生や大学生になると、つまらない講義を居眠りしたり、さぼったりしながら聞いているのが普通です。そこそこの点数で何とか上に上がっていかないと、ほとんどの学生が思っているのです。親は、学校に過大な期待をしないほうがいいと思います。

ぼくの経験を述べてみます。

1960年頃の政治的な騒動（安保闘争）の時、「学校なんか馬鹿馬鹿しくて行ってられない」と、途中でやめる学生がずいぶんいました。いったん退学したけれども復学しようか迷っている学生や退学したことで親ともめて悩んでいる学生など、いろいろでした。

時には自殺してしまう学生もいました。死んでしまった学生がぼくの書いたものを読んでいたような場合、仲間や友人が連絡してくることがあって、そんな時は葬式や納骨の時に参列しました。

そうすると、本人の親御さんがぼくに「おまえみたいな奴の本なんか読まずにちゃんと学校の勉強さえしていたら、こんなことにはならなかった。うちの子はあんなに真面目だったのに」というようなことを言うわけです。面と向かって言われたこともありますし、暗にほめかされたこともあります。

ぼくは恐縮して聞いていましたが、この人たちはひとつ間違っているところがあると思っていました。「おまえなんかの本はろくなものじゃない」というのは確かにその通りで、異論はありません。でも「学校にさえ行っていけば」「学校の勉強さえしていれば」という前提は間違っています。

親というのは一様に、自分の子どもが学校制度の中で真面目に勉強して卒業していくものだと思っているのです。そうすれば間違いはない、社会に出てちゃんとやっていけるのだ、と。10人親がいれば10人ともそう思っているということが、その時よくわかりました。学校制度とか、学校でする勉強というものを信じきっていて、だから「学校に行かないなんてけしからん」となるのです。

しかし、それはおかしい。親だって、自分が生徒や学生だった頃のことをよく思い出してみれば、そんなことは嘘だとわかるはずなのです。自

分だって、適当に遊んで、適当に及第点を取ってというようにやってきたに違いないのです。よほどの優等生以外、そんなものです。

それをけろりと忘れて、子どもに対しては、真面目に勉強しているはずだという仮定をして安心している。それはなぜかという、やはり、小学校や中学校の時に体験した「偽の厳粛さ」の弊害があるのではないのでしょうか。大人になってから学校というものを思い出す時、記憶の中から一番取り出しやすいものが、あの独特の厳粛な雰囲気なのでしょう。それが偽物だったことは忘れてしまって、一般的な「学校」のイメージとしてどこかに残っているのです。

だから、そのところだけを取り出して、学校の印象を再構成してしまう。細かい部分や、自分自身の気持ちというのは、よほどいねいに検証していかないとリアルに思い出せないものです。

本当は、学校は真面目に勉強するところだなんて嘘なんだということを誰かがちゃんと言ったほうがいいのです。そのあたり文学者というのは馬鹿正直なところがありますから、けっこうはっきり言っている人がいます。

たとえば太宰治は、小説の登場人物に、学校なんてものは、カンニングしても何でもいからとりあえず出ておけばいいんだと言わせている。また、武田泰淳は大学を中退した奴じゃないと信用しないと書いています。

勝手な言い草のようですが、それなりの確信があって言っているのです。こういう人たちのほうが、よほど正直でまっとうです。自分の子どもは真面目で立派だなんて思い込む親より、ずっといいという気がします。

（出典 吉本隆明『ひきこもれ - ひとりの時間をもつということ-』大和書房、2006年）

問1 筆者のいう、下線部(1)「偽の厳粛さ」の弊害とは何か。100字以内でまとめてください（句読点も字数に含む）。

問2 あなたにとって、学校での学びがあなた自身のキャリアデザインにおいてどのような意味を持つと考えているのかを400字以内で述べてください（句読点も字数に含む）。